

今日から第53回桐華祭 (10月26日、27日)

テーマは「笑顔満祭」

届け笑顔 輝け十文字生

ライターデザイン新聞

本学の学園祭「桐華祭」が26日、27日の2日間にわたって開催される。53回目を数える今回のテーマは「笑顔満祭」。笑顔あふれる桐華祭にしたいという実行委員会の思いが込められている。日ごろの研究教育や勉学、サークル活動などの成果を発表する貴重な機会であるとともに、地域の方々やお世話になっている方々、そして高校生など学外の大勢の人たちに本学を知ってもらう場でもある。桐華祭の成功を願い、ライターデザイン部が総力を挙げて準備の様子を取材した。

桐華祭実行委員長 立花彩香さんインタビュー

「学生の笑顔が元気の源に」

春から桐華祭実行委員会の中心メンバーとして準備の先頭に立ってきた委員長立花彩香さん(メディアコミュニケーション学科3年)に準備の様子や実行委員会の思い、参加者の皆さんへのメッセージなどを聞いた。(小野寺七海)

◆桐華祭への意気込みを教えてください。
立花 昨年は天候にも恵まれ特に大きなトラブルもなく、たくさんの方にご来場いただきました。今年は昨年よりさらに活気のある桐華祭にできたらと思います。そのために委員全体で一丸

となり準備してきました。今年の「笑顔満祭」というテーマの通り学生の輝く笑顔が来場していただいた皆さんの元気の源になれば私たち実行委員一同はとて嬉しいです。
◆今年はどうな桐華祭にしたいですか。
立花 普段の学生生活では学生や職員以外との交流は少ないように思います。でも桐華祭当日は近隣の方々や十文字へ入学志望する高校生の来場が予想されます。この学園祭を通して普段交流することのない人たちと関わる良い機会になればと思います。また、学外から

桐華祭特集

発行
十文字学園
女子大学
ライター
デザイン部

◆委員長をやる上で大変だったことは。
立花 例年に比べて実行委員の1年生が多かったののでシフトを組むのが大変でした。また学園祭が近づくにつれてやるが増え、バイトや学業との両立に苦労した点です。実行委員1人1人がそうした苦勞を乗り越え、今日を迎えることができました。
◆実行委員になったきっかけは。
立花 はじめは高校のときの文化祭の感覚で「楽しそうだな」くらいに思っていました。立候補しました。実際に活動してみるとお昼休みや空きコマ、夏休みに集まってミーティングをしたり飾りつけの準備をしたりと想像より忙しくて驚きました。



笑顔満載、の実行委員長、立花さん

ようかな」と思いました。が、いざ1年終えてみると達成感を感じました。また、就活をする上でこの経験は必ず役に立つと思っています。今ではやって良かったと思います。
◆最後に一言。
立花 「桐華祭盛り上げるぞ〜!」
【取材メモ】
インタビュー中、終始明るい立花さんでしたが、知られざる努力があったことを知りました。地域の方々の連携、学生支援課と協力しながら実行委員会各局に仕事を振るなど本番を前に多忙な日々を送っていました。桐華祭成功するといいですね。(小野寺)

第53回桐華祭 主なイベント

両日

- ◆10:00~
文化展出展 66団体
飲食出店 18団体
- ◆10:00~15:00
高校生と保護者のための進学相談会
(学生募集部)
- ◆11:00~15:00
同窓会主催のホームカミングデー

第2日 10月27日 (日曜日) (10:00~16:00)

- ◆スペシャルイベント (10:00開場)
- 第1部 お笑いライブ 10:40~
出演: GO! 皆川
- 第2部 トークショー 11:00~
出演: 俳優 横浜流星
(当日券はありません)
- ◆エンディングセレモニー (16:30)
実行委員長・副委員長あいさつ
学長あいさつ
スライドショー
桐華賞 結果発表
エンディング宣言

第1日 10月26日 (土曜日) (10:00~17:00)

- ◆オープニングセレモニー (9:50)
開会宣言
実行委員長あいさつ
学長あいさつ
団体によるパフォーマンス
- ◆ガチコン! (12:00~13:30)
7号館1階カフェテリア
藤森沙紀
J和太鼓部
手話部

裏面に志村二三夫学長インタビューほか

お薦め展示・出店

念願の弁当販売 「映え」で桐華祭に彩り添える

徳野ゼミ



健康栄養学科3年生で結成された元氣プロジェクト(徳野ゼミ)が今回出店するのは、「1キロ映え弁当」。その名の通り彩り豊かな弁当はどこから見ても「映える」ものとなっている。アスリートを対象に製作しているためタンパク質の多い鶏肉、鉄分が沢山摂れるシラスなど、運動する全ての人のハートをつかむ注目の弁当だ。これは、サッカーを頑張る高校生の練習後に「このようなお弁当があったら嬉しい」という保護者の声を聞いて作られたもの。代表者の1人、健康栄養学科3年の有澤実咲さんは「毎年桐華祭に出店しているが、お弁当を出すのは初めて。1日50食限定なので是非お早めにお買い求めください」と当日を楽しみ

ライデザが選ぶ

にしている。(大山彩花)

コメディー 初上演

ミュージカル部



志村学長も過去の桐華祭で印象に残ったというミュージカル部。今回桐華祭で行う演目「ME AND MY GIRL」舞台は1930年代後半の英国の由緒正しい名門貴族へアフォード伯爵家での物語。部長の大山彩花さんは主人公ビルを演じるが、原作に寄り過ぎず、自分の中のビルを意識しながら挑戦することである。

ミュージカル部としてコメディ作品は初の試みという。感動させることよりもお客様を笑わせることは何倍も難しく、「コメディとシリアスの違いを明確にすることが難しく、気が付

選曲に工夫 気合いの演奏

J和太鼓部

桐華祭に向けての意気込みを、1年生6人、2年生7人、4年生5人で活動しているJ和太鼓部の部長、幼児教育学科2年の内田詩緒梨さんと高橋舞華さんに聞いた。

普段は防音室で毎週火曜日と第三月曜日の放課後の練習、月1回外部コーチによる指導を受けているようだ。その他の活動には、地域のお祭りやイベントでの演奏、障害施設の子供たちを学校に招いて演奏を披露したり、和太鼓を体験してもらったりと、積極的に学外での活動にも力を入れている。

桐華祭では、オープニングセレモニーとガチコンに



出演する。1年生は入部して初めての大きな舞台での演奏を、2年生は昨年の桐華祭から成長した姿を、4年生は引退前最後の演奏になるので「集大成をみてほしい」と内田さん。今回は2年生が中心となり、学年ごとに違った色を出せるように演奏する曲や構成、衣装など全て自分たちで決め、1日目と2日目で同じ曲でも演奏する人が違い2日連続で見ても楽しめる努力をしたという。

2日間ガチコン！に出場する。1日目は15:00~16:00、2日目は12:40~12:50だ。「ほかのステージとは違う盛り上がる曲を選曲したので、手拍子などで盛り上がりたってもらって欲しいです」と、気合いの入ったコメント。

2人によるとJ和太鼓部の魅力は、仲の良さ。先輩後輩関係なくあだ名で呼び合うフレンドリーな雰囲気。部活動とのこと。演奏中にも垣間見れる仲の良さとかっこよさのメリハリにも注目だ。桐華祭に向けて気十分のJ和太鼓部の演奏をぜひ楽しんでほしい。

(唐津奈々子、蛭川美佳子)

など思いました。登場人物として舞台上上がる人もそれをサポートする人も全体が盛り上げていた、そんな感じのミュージカルだったかな。

◆学長が学生だった頃印象に残る文化祭の出来事はありますか。

学長 僕が学生の頃は学園紛争っていうのがけっこう盛んでね、文化祭っていうところへ熱心に参加するという雰囲気はなかったですね。今から思うと残念ですが。

◆桐華祭に参加する学生と来場者に向けてのメッセージをお願いします。

学長 桐華祭というのは学生の皆さんが日ごろ大学の中でいろいろ活動してきた成果を自分たちが振り返るということもあるし、外から来られたお客さんや教職員に見ていただく良い機会だと思います。パンフレットにも書きましたが、本学の建学の精神が刻み込まれた学園歌には、人間として、社会人として生きていくうえで基本的なことは一生懸命と心を強く鍛え、そして勉強して、世の中みんなのために役立つような人になりますという思いと、「そうになってくださいね」という教職員の思いが込められています。そういう意味で本学に入学された方がやはりその学園歌の精神にのっとって自身を鍛える。鍛えてきた成果の一つが桐華祭という形で表れてくると思うのです。学生の皆さんたちの成果を外部の人たちに見ていただく、皆さんにとってはとても素晴らしいイベントになった、その裏には学生の皆さんが日ごろからしっかりと丁寧に取り組んできた土台があるんだってことを理解でき、伝えることができると嬉しい。そして十文字っていい大学だということ、桐華祭においていただいた方に思っただけのいいなと考えています。



学長室におじゃましました 学園歌に込められた建学の精神 「桐華祭で花開け」 志村二三夫学長



志村学長室にお邪魔しました。お忙しい合間を縫って私たちのインタビューに快く応じていただきました。

(植村萌絵、富樫奈々、中西麻樹)

◆今年の桐華祭で楽しみにしていることは何ですか。

学長 皆さんの元気な様子、活躍している様子を見ることができれば一番いいですね。テーマが「笑顔満祭」、皆さんの笑顔がはじけ飛ぶような、そんな桐華祭になってほしいと思います。今年のテーマは「起笑転結」で「承」を「笑」にしました。笑顔というのは楽しかったり、

幸せだったり、仲良くできていることが自然と表れてくると思います。イベント準備でしくじっちゃったという人もいるかもしれない。そんなことがあっても最終的にいい桐華祭だったなと笑顔があふれてほしいですね。学生も、外部からいらっしゃるみなさんも満足して帰っていただければと。

◆今までの桐華祭で一番印象に残っていることってありますか。

学長 だいぶ昔になりますが、「アニー」というミュージカルが印象深いですね。ずいぶん完成度が高い。練習を積み重ねてきたのだろう